



幹施環第 17 号
2021 年 9 月 28 日

明 石 市 長
泉 房 穂 様
加 古 川 市 長
岡 田 康 裕 様
高 砂 市 長
都 倉 達 殊 様
播 磨 町 長
清 水 ひ ろ 子 様

(連名各通)

西日本旅客鉄道株式会社
新幹線鉄道事業本部
新幹線施設部長 井手 寅三郎



山陽新幹線鉄道の環境対策強化について(回答)

山陽新幹線の運行につきましては、平素より格別のご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、令和3年8月31日付けのお申し入れにつきましては、下記のとおり回答申し上げます。

記

1. 騒音対策について

弊社といたしましては、環境対策等の重要性に鑑み、当面の目標である75dB以下とすべく発生源対策を進めている過程にあります。本対策につきまして、地上部では家屋の集合度合いの大きい箇所から順次推進し、達成してまいりました。また、新幹線車両に関して、沿線環境を悪化させない新型車両への取替を順次行い、これらの対策に関して国の指導も頂きながら、発生源対策を進めてまいります。

しかしながら、沿線の環境基準の達成につきましては、これまでに確立されている技術に加え、より一層の新技术の開発が必要であるため、早期達成は困難な状況にあります。今後とも新技术の開発に努め、環境基準に近づける努力をしてまいります。



なお、環境基準達成のためには「新幹線鉄道沿線の土地利用の適正化」を図ることも重要な課題であります。ご理解とご協力を頂くとともに、格段のご配慮をお願い申し上げます。

2. 振動対策について

防振技術の開発につきましては、公益財団法人「鉄道総合技術研究所」の協力を得ながら、今後とも努めてまいります。

なお、弾性マクラギの敷設につきましては、全社的な観点から振動の大きな箇所を中心に敷設していくとともに、軽量車両等の開発に努めてまいります。

現状、新幹線の振動で家屋被害を訴えられている沿線住民の方々には個々にお伺いして事情をお聞きし、ご説明する等、誠実な対応に努めております。

3. 列車の運行方法について

新幹線は都市間輸送として公共性の高い交通機関で、安全・安定輸送はもとより、速達性は重要な使命であります。また、沿線環境に配慮しながら、今後ともその使命を果たし、お客様の要望にお応えすべく、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を確実に実施しつつ、お客様のご利用状況を踏まえ、臨時列車の増減等柔軟な運行ダイヤを設定してまいりたいと存じます。

4. 沿線周辺環境の配慮について

高架下管理地につきましては、関係機関との連携により除草、清掃等による美化に協力し、通行車両等への配慮、また不法投棄防止のための柵等設備の維持管理に努めてまいります。

5. 情報の公開等について

発生源対策の計画・実施状況につきましては、これまでどおり情報の提供をいたします。また、弊社では事故等の必要な情報につきましては新聞等への公表を行っており、今後も同様に考えております。なお、研究開発状況に関する資料の公開は、ケース・バイ・ケースで判断しております。

【添付資料】

2021年度 新幹線沿線環境測定値

以上